

履修時間割例

※実際の開講曜日・時限と異なる場合があります。

1年次

前 期	月	火	水	木	金
8:30-10:00	総合英語 I A	ITスキルズ	<small>本学における学びの拠点・留学部</small>		地学
10:15-11:45	<small>登録教育特別講義(社会科学)</small>	政治学入門	韓国語 I	基礎演習 I	
12:30-14:00	法律学入門		英語演習 I	歴史学 I	
14:15-15:45			政治学入門		韓国語 I
16:00-17:30		法律学入門			

後 期	月	火	水	木	金
8:30-10:00	総合英語 I B	松山大学の歩み	憲法 I (人権)	刑法 I (総論)	民法 I (総則)
10:15-11:45	刑法 I (総論)	民法 I (総則)	韓国語 2	基礎演習 I	
12:30-14:00	英語圏文学 II	文章表現 II	英語演習 II		
14:15-15:45	憲法 I (人権)				韓国語 2
16:00-17:30					

- 受講する科目を選択して登録する仕組みをしっかりと理解してください。
- 法政科目（法学系・政治学系の科目）は、2単位は週1回、4単位は週2回の授業となります。
- 演習科目（ゼミ）は、通年（前期・後期）で週1回の授業です。
- 「憲法 I (人権)」「民法 I (総則)」「刑法 I (総論)」(および語学の必修科目)は、単位修得できない場合、翌年以降も履修が必要となるので、確実に単位修得ができるように授業に臨んでください。

2年次

前 期	月	火	水	木	金
8:30-10:00	労働法 I		地域と福祉		
10:15-11:45		憲法 II (統治)	労働法 I		論文作法(法律)
12:30-14:00	憲法 II (統治)			基礎演習 II	刑法 II (各論)
14:15-15:45	刑法 II (各論)	中級英語 III (発表)		韓国語リーディング I	
16:00-17:30					リレー講座

後 期	月	火	水	木	金
8:30-10:00	民法 III (債権総論)			政治学	
10:15-11:45		判例読解	民法 III (債権総論)		
12:30-14:00	法政特別講義			基礎演習 II	
14:15-15:45		中級英語 III (受容)	科学史	韓国語リーディング II	倫理学 II
16:00-17:30	政治学				リレー講座

- 1年次末に自ら選択したコースごとに卒業に必要な「選択必修科目」が異なりますので注意してください。
- 自分のコースの「選択必修科目」（2年次配当）の中から、3科目（12単位）以上の法政科目の単位修得ができるように履修します。
- 法政科目の選択必修科目を12単位以上修得できなかった場合は、翌年以降も履修が必要です。
- 法政科目は選択肢が多いので、将来の進路を意識して履修してください。

3年次

前 期	月	火	水	木	金
8:30-10:00		会社法		商法(総則・商行為)	刑事訴訟法
10:15-11:45	民事訴訟法		民事訴訟法		
12:30-14:00		芸術(音楽)	専門演習 I	現代地理学 I	会社法
14:15-15:45	法哲学				法哲学
16:00-17:30		刑事訴訟法			

後 期	月	火	水	木	金
8:30-10:00		プログラミングの基礎		民事執行法・保全法・破産法	
10:15-11:45		支払決済法	法政特別講義		支払決済法
12:30-14:00	民事執行法・保全法・破産法		専門演習 I		
14:15-15:45		民法IV(契約)			民法IV(契約)
16:00-17:30					

- 自分のコースの「選択必修科目」（3年次配当）の中から、3科目（12単位）以上の法政科目の単位修得ができるように履修します。
- 2年次の法政科目の「選択必修科目」で12単位の単位修得ができていない場合は、再履修が必要です。
- 3年次の3月から就職活動が始まるので、可能な限り3年次で必要単位は修得するよう心掛けてください。

4年次

前 期	月	火	水	木	金
8:30-10:00					
10:15-11:45					
12:30-14:00					
14:15-15:45			外国書講読		
16:00-17:30			専門演習 II		

後 期	月	火	水	木	金
8:30-10:00					
10:15-11:45					
12:30-14:00					
14:15-15:45			外国書講読		
16:00-17:30			専門演習 II		

- 卒業に必要な単位数は、合計132単位以上です。
- 履修をする際には、自分の成績を正確に計算し、修得単位に余裕をもって登録することが肝要です。
- 総単位や必修・選択必修の必要単位が足りない場合は、就職先が決まっても、卒業できませんので注意してください。